

事業継続マネジメント — 危機管理および事業継続力強化への取り組み —

より詳しい
情報は、こちらを
ご覧ください。▶



基本的な考え方

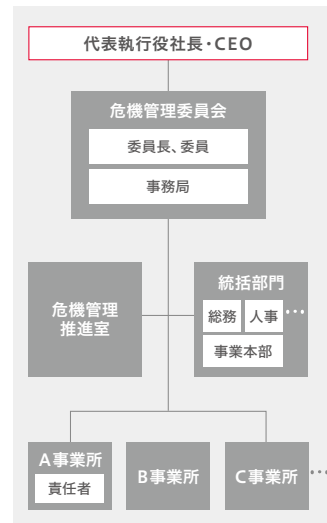
NSKでは「人命の安全確保を最優先する」「社会と協調して災害対応を行う」「重要業務は停止させない、万一、停止した場合でも、速やかに再開させる」という基本方針を掲げています。

また、NSKでは事業継続計画(BCP)を策定しており、災害発生前の事前対策として、災害発生時の被害を低減する対策と、災害発生後の事後対策として、復旧期間を短縮する対策と代替手段を事前に検討し、併せて顧客への製品供給責任を果たすために必要な在庫を確保しています。

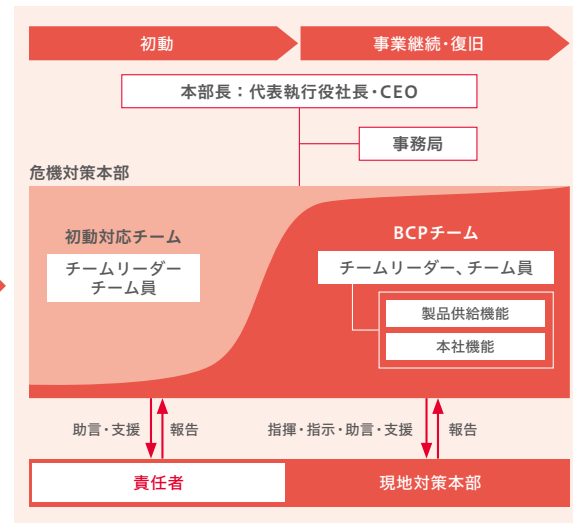
事業継続マネジメント体制

CEO直轄組織として、事業継続マネジメントへの取り組みを統括する「危機管理委員会」を常設し、NSKグループが遭遇しうるリスクの顕在化を想定し、平時からの事前準備と有事の対応を指揮統制する体制を構築しています。

平時の体制



危機発生時の体制



また、海外各地域にも事業継続マネジメントを統括する組織を設置し、リスク顕在化時には危機管理委員会がこれらの組織と連携して対処します。

個の力の強化

組織や企業の事業継続のためには、リーダーの指示を受けることなく、従業員一人ひとりが緊急事態発生時に期待される行動ができることが必要であるという考えに基づき、災害発生時の状況をシミュレーション体験し負傷者救護・救助方法を学ぶ訓練や、災害発生時に次々と目前に現れる課題をリーダーの立場で解決できるかを判定する訓練をFY2024から新たに導入します。新たな訓練はパイロット工場で開始し、順次、各拠点へ展開する予定です。



災害シミュレーションのワークショップ

災害対応からの振り返り

頻発する地震や集中豪雨の発生を受け、策定しているBCPに対する改善点を洗い出すため、災害対応からの振り返りを行っています。

近年の気付きとしては、通常勤務時間外に危機レベルが高まった場合の稼働判断方法や連絡手段の改善、工場周辺の最新のハザード情報の把握、災害用備品類の不足分の補充、訓練による事前準備事項の実効性の確保がありました。

また、これらの振り返りを元に、国内外全工場における気象災害への備えの点検を実施しました。